

中西吉日出

なかにし
よしひで

奈良市議会 活動報告



奈良市議会議員

<http://www.nakanishiyoshihide.com>

八条地域周辺、市の「玄関口整備」 地元意見尊重したまちづくりを

奈良市議会の中西吉日出は、令和6年度市議会活動の中、私の地元の八条地区で計画が進められているJR新駅の設置、鉄道高架化、奈良インターチェンジなど市の「玄関口整備」について、地元意見を尊重したまちづくりを行っていくよう強く要望しました。またこれを契機にした観光、経済、学術研究など連携した施策の充実を求めました。道路整備の必要性や防犯、防災、優秀な市役所職員の確保など、私の議会活動をご報告いたします。

観光施策拡大や研究機関誘致

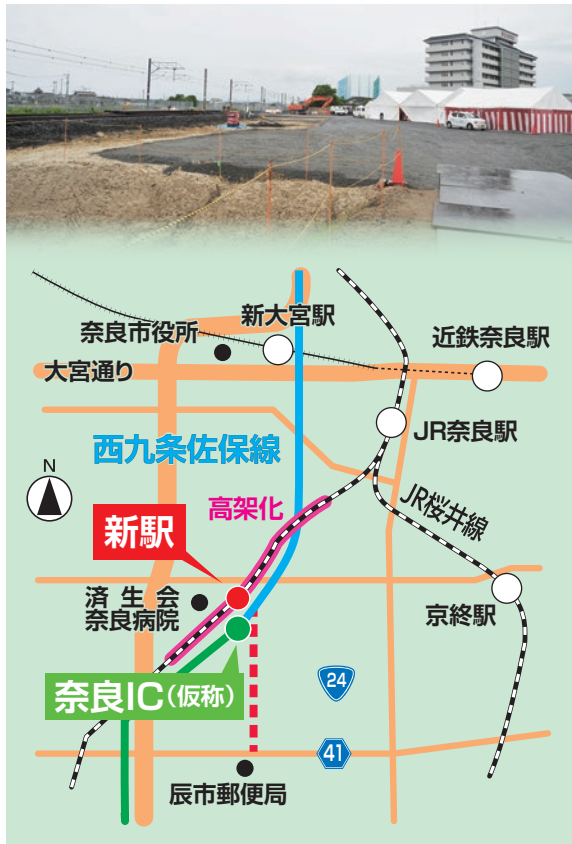
市の独りよがりにならない整備を

市議会3月定例会の一般質問に登壇した私は、八条地域で計画されているJR関西本線の新駅設置や鉄道高架化Ⅱ地図参照Ⅱに伴う周辺整備に対し、奈良市がどう関与し活性化につなげていくのかその考えを問いました。

またこの地区を南北に縦断する西九条佐保線と東西線の道路整備についての計画と現在の進捗状況についても質問しました。

市は、新駅の開業時期が令和11年度を想定していると、駅舎は前年の10年度に完成を目指しているとJRから聞き及んでいると説明。これに合わせてまちづくりに取り組んでいくと述べました。

また道路整備について市は、大宮通りから仮称「奈良インターチェンジ（IC）」ま



での約2キロについては、県が進めており、ICの共用に合わせて開通すると説明。ICから辰市郵便局北側付近になる0・9キロについては、令和10年度3月末の完成を目指して用地買収、発掘調査を順次進めているとの答弁がありました。

JR新駅、奈良ICの一体的なまちづくりを進めていくため、地元では八条・大安寺周辺地区土地画整理準備組合が、令和5年4月に設立され、現在市は事務局として本組合設立のための運営支援をしています。

市は道路整備と併せてこの区画整理事業との連携は不可欠とし「地域の方々や地権者の方々の理解、協力を得ながら事業を進めていく」と述べ、コンセンサスを図っていくこと

とを約束しました。

私は、JR新駅の周辺整備は、近隣の地域住民から大きな期待の声が聞かれていると、地域住民はもちろんのこと、奈良市民の声を聞き、行政の独りよがりにならないまちづくりを迅速に進めていくよう強く求めました。

職員数減

災害対応に懸念

近年の大地震や豪雨災害をはじめとする災害が多発し、南海トラフ地震への備えが求められる中、市の職員数の減少が危機管理体制の脆弱さにつながっていないか危惧されます。本会議で市の危機管理について問いました。

現在、市の危機管理課の体制は、別表のようになっています。昨年度1月時点で、職員らの災害対応業務を除いた時間外勤務状況は、1797時間間で、一昨年度の969時間を大幅に超えています。私はこの状況になっている原因と、有事の際に対応できるの



加えて、新駅から始まる大安寺、薬師寺、唐招提寺の方面への観光施策の拡大、企業や学校、研究機関の誘致に向けた施策の充実も求めました。

危機管理課の体制

	管理職 (課長級以下)	正規	会計年度 任用
◆総務係 防災に関する各市計画、システム通信、庶務業務	5人	3人	1人
◆災害対策課 備蓄物資や設備、啓発業務	5人	5人	1人
◆市民安全係 防犯、交通安全、国民保護計画業務	5人	3人	4人
時間外勤務状況	一昨年度 969時間 → 昨年度(1月時点) 1797時間		

か、市の考えをたどりました。
(裏面へ続く)